



鳥取県立白兎養護学校（高等部）

公式ホームページ



所在地：〒689-0201 鳥取市伏野1550-1
 TEL：0857-59-0585
 （訪問学級0857-59-0584）
 FAX：0857-59-1237
 E-mail：hakuto-s@pref.tottori.lg.jp
 URL：https://www.torikyo.ed.jp/hakuto-s/
 創立：昭和52年11月1日

学校案内図



生徒数

（令和8年5月1日現在）

普通科	1年		2年		3年	
	男	女	男	女	男	女
単一障がい学級	7	4	4	3	2	2
重複障がい学級	4	5	7	3	9	1
訪問学級	1	0	2	0	1	0

令和9年度 設置学科

○普通科

利用交通機関

- ・JR「末恒駅」下車徒歩20分
- ・日ノ丸バス鹿野行「聖母学園前」下車徒歩3分
「白兎養護学校」下車すぐ

校訓

強く 明るく 正しく

めざす学校像

明るく活力のある学校
夢や目標に向かい前進する学校

学校教育目標

人と関わりながら自立と社会参加に向けて努力する子どもの育成

めざす児童生徒の姿

あ いさつを交わし みんななかよく え がおいっぱい 楽しんで学ぶ学校
 い のちはひとつ 自分も友だちも大切に お もいやりのある 豊かな心
 う んどうをして 健康で元気な身体

白兎のあいいうえお

【学校の概要】

昭和52年11月、鳥取市立養護学校白兎学園から「鳥取県立白兎養護学校」として新設されました。当初は小学部と中学部、国立療養所内の訪問学級のみでしたが、平成元年に高等部単一障がい学級、さらに平成6年に高等部重複障がい学級、平成13年に高等部訪問学級が開設され、現在の学校体制となりました。平成17年に高等部棟校舎新築、平成19年に校庭の芝生化など、安心して学べる教育環境も整備されました。また、平成22年には通級指導教室「ハーモニー」ができ、地域の特別支援教育のセンター的機能の推進を図っています。

高等部では、作業学習をはじめとする職業教育の充実を進めるとともに、一人一人のニーズに応じた「社会参加する力の育成」と「人と関わりながら生きていく力の育成」「健康に安全に生きる力の育成」に努めています。

産業現場等における実習、作業学習、職業など、卒業後の生活に向けた学習があって卒業後のイメージを持ちやすいです。僕はいろいろなことに挑戦しています。苦手なことにも挑戦し、卒業後の生活に生かしたいです。

（3年生）

在校生の声

入学する前は知っている人が少なくてドキドキしていましたが、友達ができ、先輩もやさしくて白兎に入学してよかったと思います。これから、校外学習などいろいろな学校行事や学習があるのでとても楽しみです。

（1年生）

高等部の学校生活紹介



● 単一障がい学級、重複障がい学級

- 自分で考えて物事を決めたり、選んだりする力を身に付けます。
- 人と関わりながら生きていく力を身に付けます。
- 健康で安全に生きていく力を身に付けます。

(主な学習の紹介)

生活単元学習

自分たちで計画したり、協力してやり遂げたりする中で、生活する力をつけていきます。



教科の学習

国語、数学、音楽、美術、保健体育、家庭などがあります。

自立活動

苦手なこと、できるようになりたいことはみんな違います。自分のめあてに向かって取り組みます。



作業学習

製品や生産品を作ったり、サービスを提供したりして働くための力をつけていきます。



産業現場等における実習

校外の事業所等で実習をします。自分の進路について考える学習です。

● 訪問学級

国立病院機構鳥取医療センター内にある訪問学級教場や病室で院内訪問教育を行っています。また、自宅で療養していて通学が困難な生徒のために在宅訪問指導も行っています。集団や個別での学習の中で、感覚に働きかける運動や音楽、友達とのやりとりなどを通して、一人一人の能力や可能性を伸ばしていきます。



日常生活の指導



おはなし活動



特別活動（きらきらタイム）

高等部卒業後の進路

◇過去3年間の進路状況

	福祉サービス	企業等	施設・病院	進学	その他
R5 (18人)	13人 (72%)	3人 (16%)	1人 (6%)	0人	1人 (6%)
R6 (17人)	12人 (71%)	4人 (23%)	0人	1人 (6%)	0人
R7 (18人)	14人 (77%)	2人 (11%)	1人 (6%)	1人 (6%)	0人

体験入学・相談のご案内

入学を希望される方には、体験入学（出願には必須）をお願いしています。本校がどのような学校なのか実際の授業を体験したり、学校について説明を聞いたり、校舎の見学をしたりできます。保護者や担任の先生も一緒に来校していただき、よりよい進路学習の参考にしてください。